



学校教育目標 **心豊かな子 (徳) 体をきたえる子 (体) 学び合う子 (知)**

進級・卒業に向けて一日一日を大切に

校長 星野 和久

冬もいよいよ本番になり、寒さが厳しい季節となりました。春の到来が待ち遠しいこの頃ですが、「冬来りなば 春遠からじ」。…寒くて厳しい冬が来たということは、暖かい春はもうすでに目の前まで来ています。

2月4日は「立春」です。今しばらく厳しい寒さが続きますが、暦の上では春ということになります。前日の2月3日は「季節を分ける」という意味で「節分」です。子どもたちには、豆まきなどの伝統文化にふれさせていただき、日本ならではの四季折々の季節感を体得してほしいと思います。

学校にとっても、子どもたちにとっても、春というのは特別な季節です。

まず、学年やクラスの友達等が変わります。教室やあるいは階も変わる学年も出てきます。何だか今までとは違う、特別な力が備わったような気持ちになります。新しく入った1年生や下級生のために、何かをしてあげたくなってきます。去年は忘れ物をすることが多かったけれど、今年は何だかちゃんとやれるような気もしてきます。今まで話したことがなかった友達とも、仲良くなれそうな気がしてきます。いろいろなことが一新する季節に、子どもたちは大きく期待に胸を膨らませます。不安ももちろん抱えながらも、わくわくする気持ちで心が浮き立っていきます。

私たち大人は、そのような子どもたちの「わくわく」を「素敵な〇年生になるために、こんなことを頑張ってみよう!」、「新しい下級生の見本となるように、立派な姿を見せられるようにしよう!」等、前向きな言葉で大きく育てたいものです。

春になったら何だか特別な力が備わったような気持ちになるだけでなく、しっかりと、本物の特別な力を冬の今の時期にしっかりと育て、自信をもって春を迎えられるよう、学校でも残りの2か月間、子どもたちを育ててまいります。あっという間に過ぎてしまう2月、3月ですが、保護者の皆様、地域の皆様とともに、さぎの森小学校の子どもたちの春をすばらしいものにしていきたくて思っております。今後とも、学校とともに歩んでいただけますようお願いいたします。

<友達とのかかわりを通して豊かな心を育みましょう>

学校のよさは、多くの友達といっしょに学んだり生活したりするところにあります。友達がいるからこそ一人でできないことができるようになる。そこで力を合わせ協力する大切さを学んだり、友達の優しさを感じたりすることができるのです。「友達のことを大切に思う心」それが思いやりであり、優しさです。たくさんの友達と一緒に生活しているからこそ得られるこの思いやりや優しさの心をみんなで大切に育ててほしいと思います。



埼玉県警察による
ネットモラル教室の実施 (1月15日)

<安全に気をつけて健康にすごしましょう>

学校で生活する上で一番大切なことは何でしょう。私は、心も体も「健康」であることだと思います。何をしても健康でなければ力もでませんし、思うように生活できないものです。また、交通ルールを守る、放課後の過ごし方に気をつけるなど、安全で楽しい生活をめざしましょう。かけがえない皆さんの命を大切にしてほしいです。